

紫波町かいわい IT 事情

紫波町 IT サポートコーナーを運営するゴーフォワードジャパンが発信します

ロボットカープログラミング特集

マイクロビットという教育用のマイコンボードを知っていますか？

地磁気センサーや温度センサー、マイクロビット同士の無線通信、5行5列のLED表示器などを使って工夫をこらしたプログラミングを楽しむことができます。

ウェブブラウザでプログラムを作ってマイクロビットに書き込めば、外に持ち出して遊ぶこともできます。

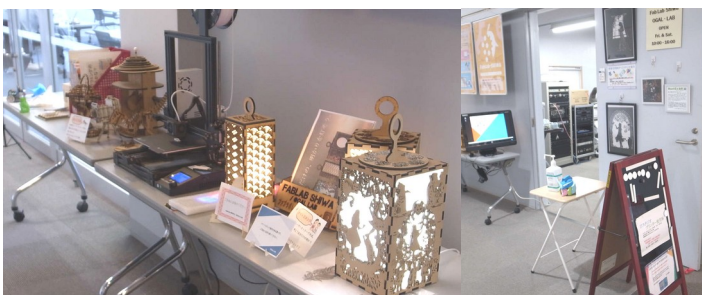
車輪とモーター、超音波センサーなどがついた Maqueen というロボットカーにマイクロビットを差し込めば、自分で作ったプログラムに従って動き出します。プログラムは学校で習うスクラッチと同じブロックプログラミングなので簡単です。



ファブラボ紫波では年に数回ロボットカープログラミング教室を開催しています。また、毎週土曜日は1から2時間で体験することもできます。興味のある方はメールでお問い合わせください。

紫波町IT無料相談

パソコンやスマホを使っていて困ったことがあったら、ITサポートコーナーでいっしょに考えて良い方法を見つけましょう。

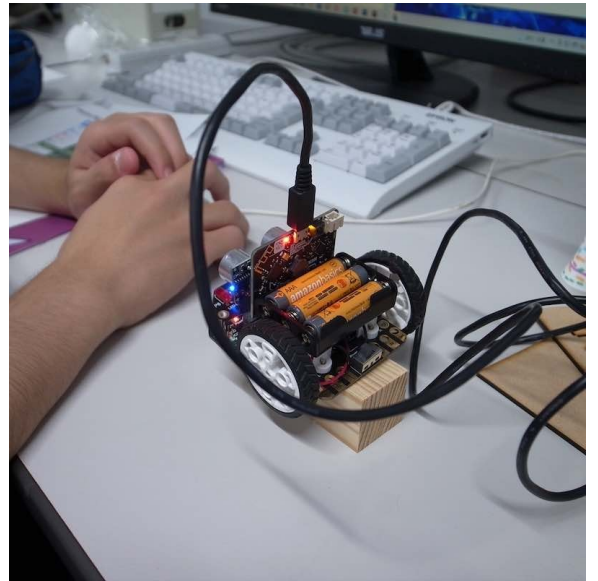
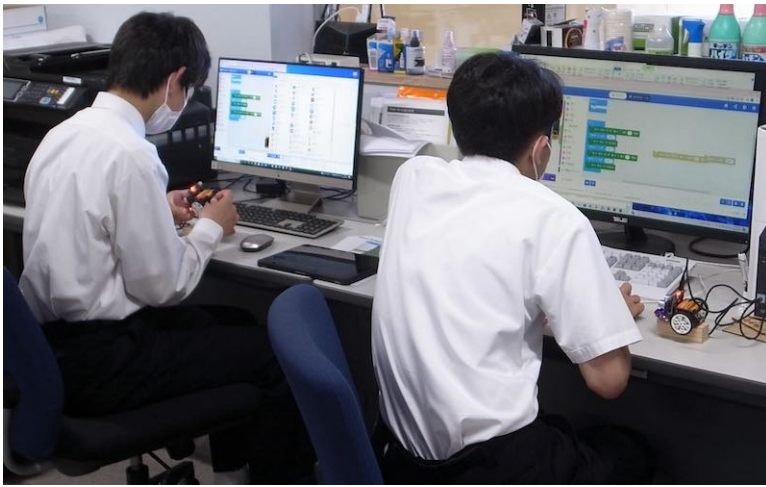


金曜・土曜の10時～16時にオープンしています
(情報交流館の休館日を除く)

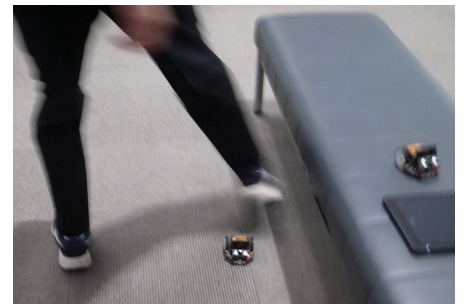


7月7日には紫波三中の職場体験の一環で二人の生徒がロボットカープログラミングを体験しました。

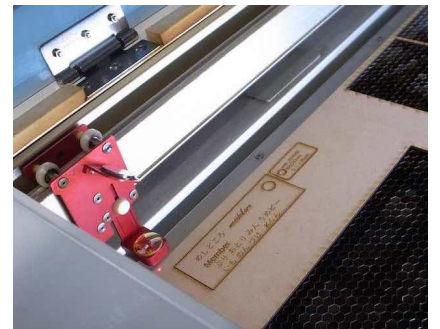
授業でScratchを使っているとのことで、同じブロックプログラミングを使うマイクロビットには全く違和感がなかったようです。



プログラムした動作が、ロボットカーの動きではっきり分かるので楽しく体験ができたようでした。超音波センサーで障害物を避けるプログラミングも納得感を持って学んでいました。一日コースのロボットプログラミング教室にもぜひ参加してください。



レーザーカッターでタグを作る体験もしてもらいました。パソコンの画面で描いたものが数分で実際に使うことができる小物になるのは面白かったようで、タグの大きさや形、書き込む文字も集中して考えながら独自のタグを作図していました。



ファブラボ紫波で使っているレーザーカッターは、無料でダウンロードして使うことのできるリブレオフィスDRAWで作図することができます。切り取る場所は赤線、文字のように掘り込むところは黒ベタにするという簡単な決まり事で加工することができます。

もちろんイラストレータで作図することもできますが、わざわざイラストレータを覚えたくないという方には、自宅でじっくり作図できるリブレオフィスDRAWがおすすめです。

興味のある方は問い合わせください。



ITサポートコーナーとファブラボ紫波は紫波町情報交流館2階で、金曜日と土曜日の10時から16時までオープンしています。（情報交流館の休館日はお休みです。）

問い合わせは info@go-forward-japan.org まで。

メール用
QRコード

